

肝切除術術後の短期・長期成績に関する研究

1. 研究の対象

2011年1月以降、当院で肝切除術を予定し、手術を施行した全症例（開腹、腹腔鏡、原疾患を問わない）

2. 研究目的・方法

研究の目的

- 1) 肝切除における合併症のリスク因子と予後因子を後方視的に解析すること。
- 2) 術中の手技（胸腔ドレーン留置、硬膜外麻酔の有無、肝切離法）や術後疼痛が術後合併症や在院日数とどのような相関があるかを後方視的に明らかにすること。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

方法：以下の項目について、観察および検査を実施し、そのデータを本研究に利用する。

これらはすべて日常診療（保険診療範囲）で実施される項目であり、その頻度も日常診療と同等である。

患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、ASA-PS、癌の進行度診断・診断日・病期診断・治療開始日、手術前情報、手術施行時、周術期観察項目、長期予後等のデータ

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院

熊本市南区近見 5-3-1

TEL：096-351-8000

研究責任者：外科 新田 英利

以上